

地域に安心の笑顔を

for Your Smiles



Yachiyo Hospital Information

総合案内



社会医療法人 財団新和会

八千代病院

あなたの笑顔のために……

八千代病院は明治33年(1900年)の開業以来、いくつもの時代の荒波を乗り越えながら、常に地域の医療を支え、未来を見つめた先進的な取り組みを行ってまいりました。2005年に創業の地から現在地へ新築移転したのちも、「すべては地域のために」という遺伝子は脈々と息づいています。2009年、愛知県で初の「社会医療法人」となり、救急医療を支え、地域医療の主役となる使命を明確にいたしました。「地域のため」とは、その地域に足りない医療を率先して行い、地域住民が困らないようにするという考え方です。あるいは、わざわざ遠くまで足をのばさなくても近くの医療機関で同等の医療が受け

られるということです。近隣病院と協力して2次救急を積極的に行い、さらに急性期病棟だけではなく、急性期から在宅までを切れ目なく受け持つ回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟を整備しました。これに加え、在宅部門や健診センターの拡充、さらに2018年4月から老人保健施設の新規加入を行い、まさにスーパーケアミックス(当法人の造語)を実現しています。歴史のある不妊センター、鏡視下手術センター、血液浄化センター、総合リハビリセンターなどに加え、放射線治療、小児アレルギーの分野でも新たにセンターを開設しました。これらも「地域が必要とする医療」を整備す

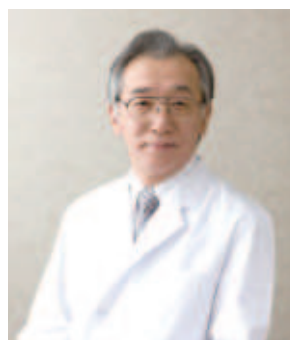


社会医療法人とは…

救急医療、地域医療など公益性の高い医療を担う病院区分のひとつ。認定には特定分野での一定以上の要件を満たす必要がある。社会医療法人に認定されると、法人税や固定資産税などの一部が非課税になる優遇措置が受けられるが、民間地域病院として一層大きな役割が求められる。

る観点に立脚しています。

安城市は日本全国の流れと異なりまだ人口増加をしており、この医療圏における医療、介護需要は2035年から2040年にピークに達すると予測されています。このような医療圏の特殊性を踏まえ、今まで以上に安城市や医師会、地域の医療機関、介護福祉施設などと歩調を合わせ、風通しの良い地域医療連携を維持し、地域全体で未来予測図に対応できるよう尽力してまいります。皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



社会医療法人 財団新和会 理事長

弥政 晋輔

IYOMASA, Shinsuke



社会医療法人 財団新和会
八千代病院 院長

小林 一郎

KOBAYASHI, Ichiro



地域が必要とする医療を 途切れることなくつなぎます。

理 念

最善の医療を提供する

私たちは地域の皆様の健康を守り、より良い生活を送っていただくために最善の医療を提供します。
そのために、以下のことを実践します。

基本方針

患者本位の医療

私たちは常に患者の皆様を第一に考え、全人的医療を行います。

地域中心の医療

私たちは地域の医療機関や介護福祉施設、行政等と連携を取り、
最良最適の医療を行います。

安全先進の医療

私たちは絶えず先進の医療を安全に行えるように努力してまいります。

モットー

親切 親和 信念

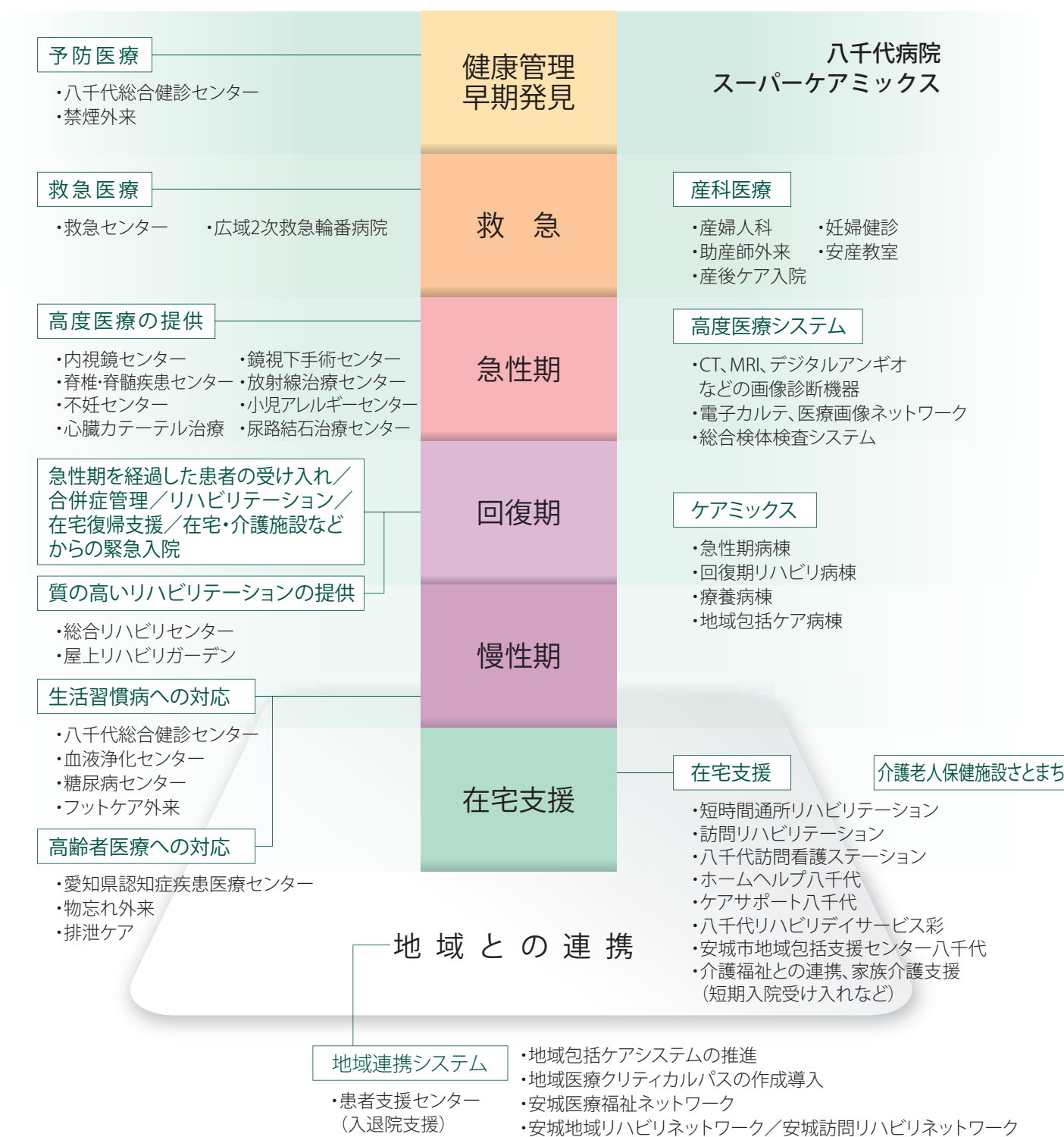
私たちは、親切に、多職種協働して、強い信念を持って医療に当たります。

患者憲章

患者本位の医療のために

1. 最善の医療を平等に受けられ、個人として尊重される権利があります。
2. 医療の内容について十分な説明を受け、納得して医療行為を選択する権利があります。
3. 他の医師の意見を求める権利があります。
4. 診療情報の提供を受ける権利があります。
5. 医療上の個人情報保護される権利があります。
6. 医療担当者に自らの健康と疾病について伝え、診療に協力する義務があります。
7. 他の患者診療に支障をきたさないように配慮する義務があります。

地域の基幹病院として、日頃の健康管理・疾病の早期発見から、救急、急性期、回復期、慢性期、在宅支援、そして最寄りの地域医療機関にバトンタッチするまでのすべてのプロセスをシームレスに対応します。



地域医療の「核」として トータルケアします。

Y a c h i y o H o s p i t a l

標榜診療科

内科	外科	小児科	ペインクリニック外科
消化器内科	消化器外科	産婦人科	放射線科
循環器内科	乳腺外科	泌尿器科	臨床検査科
呼吸器内科	血管外科	皮膚科	病理診断科
腎臓内科	呼吸器外科	眼科	救急科
人工透析内科	肛門外科	耳鼻いんこう科	
内分泌代謝内科	整形外科	リハビリテーション科	
神経内科	脳神経外科	麻酔科	

指定医療機関

保険医療機関
生活保護法指定医療機関
結核予防法指定医療機関
母体保護法指定医の配置されている医療機関

被爆者一般疾病医療機関
国民健康保険療養取扱機関
健康保険療養取扱機関
身体障害者福祉法指定医療機関

学会施設認定

臨床研修指定病院
日本内科学会認定医制度教育関連病院
日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本整形外科学会専門医制度研修施設

日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本大腸肛門病学会認定施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
日本リハビリテーション医学会研修施設
日本臨床細胞学会認定施設
日本循環器学会専門医研修関連施設

地域の医療機関のご要望にお応えするためにも、医師・看護師・医療技師・薬剤師・介護福祉士などのマンパワーから、各種先進の医療機器・設備に至るまでトータルに完備。地域の基幹病院として、地域チーム医療の核として機能できるよう努めています。

病床数 420床

一般病棟 270床 | 回復期リハビリ病棟 52床 | 療養病棟 52床 | 地域包括ケア病棟 46床

専門外来

物忘れ外来

禁煙外来

助産師外来

ストーマ外来

フットケア外来

糖尿病重症化予防外来

部門

看護部

薬剤部

中央手術部

中央検査部

画像診断部

栄養課

治験管理室

CE 室

事務部

患者支援センター

専門医療センター

救急センター

内視鏡センター

鏡視下手術センター

脊椎・脊髄疾患センター

放射線治療センター

化学療法センター

不妊センター

血液浄化センター

糖尿病センター

小児アレルギーセンター

尿路結石治療センター

総合リハビリセンター

八千代総合健診センター

愛知県認知症疾患医療センター

在宅支援部門

短時間通所
リハビリテーション

訪問リハビリテーション

八千代
訪問看護ステーション

ホームヘルプ八千代

ケアサポート八千代

八千代リハビリ
デイサービス 彩

訪問栄養指導

安城市地域包括
支援センター八千代

介護老人保健施設さとまち 他

指定自立支援医療機関
労災保険指定医療機関
労災保険二次検診等給付医療機関
救急告示病院

臨床研修指定病院
肝疾患専門医療機関
国土交通省指定 短期入院協力病院
愛知県認知症疾患医療センター

航空身体検査指定機関
小児慢性特定疾患指定医療機関
特定不妊治療費助成事業指定医療機関
特定医療(指定難病)指定医療機関

日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本脳神経外科学会連携施設
日本消化管学会胃腸科指導施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本甲状腺学会認定専門施設
日本内分泌学会認定教育施設

日本肝臓学会関連施設
日本病態栄養学会認定栄養管理・NST実施施設
日本小児科学会専門研修連携施設
日本産婦人科学会専門研修連携施設
日本脊髄外科学会認定訓練施設
日本カプセル内視鏡学会指導施設
日本乳癌学会関連施設

公益社団法人日本臨床工学技士会認定
臨床実習指導施設
マンモグラフィ検診施設画像認定施設

2020年6月30日現在

DPC対象病院に認可

「診断群分類」に基づいて医療費の定額支払い制度が認められた病院のこと。医療行為が多ければ多いほど医療費が増えた従来の制度とは異なり、「病気」によって診療報酬が決められるため、患者への負担も少ない。当院は、2009年にDPC対象病院として認可を受けた。

先進医学のエキスパートが 全力を尽くします。

主な診療科

内科

臨床医学の根幹ともいわれる分野。臓器別の内科とは区別して、特にここでは全身を評価診療する専門科として、総合内科医、一般内科医から構成されています。2006年には、内科学会認定医制度教育関連病院に認定されました。

消化器内科

消化管および肝胆膵疾患の診断と治療を行っています。QOLに配慮した治療を心掛け、早期胃がんに対する内視鏡治療(EMR/ESD)、B型・C型肝炎に対するインターフェロン療法、肝臓がんに対するカテーテル治療やラジオ波焼灼術などに取り組んでいます。

循環器内科

狭心症や心筋梗塞に対するカテーテル治療をはじめ、非虚血性心疾患に対するカテーテルアブレーションやペースメーカー移植などに対応。2013年度には最新鋭の血管撮影システムと320列MDCTを導入し、低侵襲かつ精度の高い治療を提供しています。

呼吸器内科

気管支喘息の治療、自己管理教育を主体とし、急性肺炎などの感染症、肺がん、慢性閉塞性疾患(肺気腫、肺結核後遺症など)による在宅酸素療法、また睡眠時無呼吸症候群など多岐に及ぶ呼吸器疾患の診断・治療を行っています。

腎臓内科

糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全など腎臓疾患全般の診断と治療を行っています。進行した腎不全の患者さんに必要な透析療法の導入と維持管理を行う一方、透析療法に伴うさまざまな合併症にも対応しています。

内分泌代謝内科

糖尿病・脂質異常症などの代謝疾患や、甲状腺疾患などの内分泌疾患に対応しています。間脳下垂体疾患、副甲状腺疾患、骨粗鬆症、副腎疾患などの症例数も多く、適切に診断し、ガイドラインに沿った診療を行っています。

神経内科

神経内科は、脳や脊髄、末梢神経、筋肉に関係する病気を扱う内科の領域のひとつ。脳血管障害やパーキンソン病、頭痛、めまいやふらつき、手足のしびれなどの疾患・症状に対応しています。また当院では、認知症の診断と治療にも力を入れています。

小児科

熱、咳、嘔吐、下痢、腹痛、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなどの疾患に対応しています。小児アレルギーセンターを併設し、小児アレルギーエドゥケーターと協力して、患児と保護者への指導はもとより教育関係者への啓発活動も行っています。

リハビリテーション科

主に、骨折・外傷などの運動器疾患、脳血管疾患などで回復期リハビリ病棟に入院された患者さんに対し、リハビリを行っています。また外来では、回復期リハビリ病棟を退院された患者さんのフォローアップ診療を予約制で行っています。

Facility



○ホスピタルストリート
院内はゆったりとしたバリアフリー構造



○診察室
車椅子での入室も楽にできる広さを確保



○4人床
木目を基調にした、温かみのある病室

内科・小児科・外科・産婦人科・泌尿器科・皮膚科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリ科の
基本科目のもと、全18科の専門医で構成されています。常に新しい技術の導入に力を入
れ、各診療科とも優れたスタッフで患者さんの期待にお応えしようと努力しています。

外科

切り傷の縫合や体表小腫瘍の切除
のような入院を必要としない手術か
ら、肝臓、膵臓、食道の腫瘍などに対
する大手術まで行っています。現在、
全身麻酔下手術は年間500件を超
え、低侵襲な鏡視下手術の占める割
合は年々大きくなっています。

整形外科

骨折、打撲、捻挫といった外傷のほ
か、関節リウマチ、変形性関節症など
の関節の痛みを中心に診断・治療を
行っています。近年力を入れている
スポーツ整形の分野では、膝前十字
靱帯損傷などのスポーツ傷害に対
し、関節鏡下手術を行っています。

脳神経外科

脳・脊椎・脊髄、末梢神経までの神経
系疾患を扱っており、頭痛、めまいを
はじめ頭部外傷、脳卒中、脳腫瘍、
てんかんなどを治療しています。
脊椎・脊髄疾患に関しては専門外来
を設け、日本脊髄外科学会の指導医
が診断・治療を担当しています。

麻酔科・ペインクリニック外科

麻酔科は、患者さんと外科医との間
に立ち、手術に伴う外科的侵襲から
患者さんの身体を守り術中術後の
全身管理を安全に行うための診療
科です。ペインクリニック外科では、
神経ブロック療法を主に薬物療法と
併用して治療していきます。

産婦人科

産科・婦人科と生殖医療の機能を兼
ね備え、各専門医が連携して診療を
行っています。婦人科領域では、子
宮筋腫、良性卵巣腫瘍、子宮内膜症
などの良性疾患を主な対象としてお
り、当院で対応困難な症例は専門病
院と連携して治療を進めていきます。

泌尿器科

腎臓、尿管、膀胱、前立腺、生殖器の
炎症、腫瘍、尿路結石などの疾患を
対象としています。男性不妊症につ
いては産婦人科と連携して診断から
治療までを行っています。また腎癌、
腎盂尿管腫瘍に対する腹腔鏡手術
なども積極的に行っています。

皮膚科

アレルギー疾患から、白癬・カンジ
タなどの感染症、膠原病疾患、良性
腫瘍、悪性腫瘍まで、皮膚疾患全般
の診断と治療を行っています。皮膚
腫瘍についてはダーモスコピーを
用いた鑑別を行い、イボなどに対す
る液体窒素療法も行っています。

眼科

眼科医療の進歩に伴い、検査方法や治
療法が変化しています。特に白内障、
網膜硝子体、涙道疾患において顕著
で、当院でも超音波白内障手術装置、
レーザー光凝固装置など最新の医療
機器を導入し、より安全で質の高い医
療を提供できるように努めています。

耳鼻いんこう科

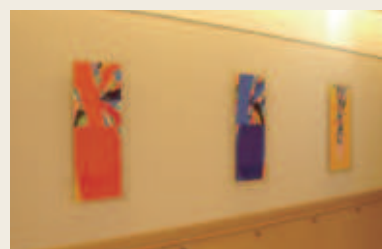
扱う頻度の高い疾患としてはアレル
ギー性鼻炎、副鼻腔炎、鼻中隔湾曲
症、めまい、難聴、耳鳴り、言語発達遅
滞、扁桃炎、喉頭炎、声帯ポリープ、舌
や唾液腺疾患などがあります。2022
年度より新たに鼻・副鼻腔疾患に対
する内視鏡手術を開始しました。



○特別個室
充実した設備と環境を整えた特別個室



○屋上庭園
目に優しく、心安らく緑豊かな療養環境



○院内絵画展示
絵画などの展示作品は、患者さんの心の癒しに

医療を支える熟練スタッフが 患者さんの笑顔を導きます。

専門外来

物忘れ外来

物忘れ外来では、神経内科医が認知症の診断と治療を行います。物忘れの多くは、加齢に伴うもので心配はありませんが、中には認知症の初期段階というケースもあるため、慎重に診断しています。



助産師外来

妊娠中のバースプランの相談・保健指導から産後の授乳指導、育児相談まで妊産婦を継続的に支援します。また当院では、助産師が主体となり産後ケア入院や助産師訪問などの特色ある取り組みも行っています。



フットケア外来

フットケア外来では、糖尿病による足のトラブルを早期発見し、悪化させないために、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師などがケアや指導を行います。またフットケアを通じて、糖尿病の療養指導も行います。



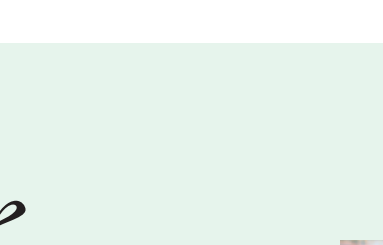
禁煙外来

タバコは身体に悪いとわかっていても、一人ではなかなかやめられないものです。禁煙外来では、健康保険適用のもと、医師が禁煙の実行・継続に向けてのアドバイスや禁煙補助薬の処方を行います。



ストーマ外来

ストーマ造設の手術を受けられた患者さんご家族が抱える問題を解決するために、患者さんお一人おひとりに合ったケアをともに考え、日常生活をより快適に過ごせるよう支援しています。



一日も早い 社会復帰を 目指して支援します。

療養病棟

病状が安定していても医療が必要で、家庭に戻るには不安が残る場合があります。そのような患者さんに、看護・介護およびリハビリテーションを継続して行い、自宅で過ごすことができるように支援するのが療養病棟です。また、当院では介護者支援を目的とした短期入院（レスパイト入院）も受け入れています。



回復期リハビリ病棟では、在宅復帰率や重症患者の退院時改善評価など非常に厳しい基準が設けられた「入院料1」の認可を受けるなど、八千代病院では、各部門や各病棟でも、それぞれが切磋琢磨して、患者さんの笑顔のために努力を続けています。

部門

看護部

2009年に看護配置基準7:1（一般病棟）を地域でいち早く導入。手厚く看護師を配置するとともに、キャリア開発や専門性の高い資格取得を支援する教育支援のもと、各種のエキスパートナースが活躍しています。

中央検査部

中央検査部では、当院を受診される患者さんのためにさまざまな臨床検査を行い、病気の診断や治療方針の決定、経過観察などに欠かすことのできない情報を提供。常に、安全、正確、迅速な検査を心掛けています。

治験管理室

新薬の臨床試験のため、当院の治験管理室では主に第2相と第3相の治験を実施しています。専任の治験コーディネーターを配置するとともに、毎月治験審査委員会を開き、審議の結果を情報公開しています。

薬剤部

調剤業務、薬品管理業務、注射調剤業務、薬剤管理指導業務、製剤業務、医薬品情報提供業務を行う薬剤部は、医療チームの一員として、常に患者さんの立場に立って薬に対する必要な情報提供をしています。

画像診断部

CT、MRI、デジタルX線TV装置、デジタル血管撮影装置、マンモグラフィ装置、内視鏡等の検査機器で得られた画像情報をデジタルネットワークにより全病院内に提供。病気の早期発見につなげるよう努力しています。

事務部

総務課、医事課、物流センター、診療情報システム管理室で構成され、病院運営に不可欠な管理部門業務を行っています。常に最新の医療情報を収集して現場にフィードバックし、良質な医療サービスを提供できるよう努めています。

中央手術部

中央手術部は、安全で質の高い「手術看護」を目指す専門チームです。手術室の安全運営を図ることはもちろん、手術に向けて患者さんの身体的、精神的準備ができるよう、術前から訪問を通じて手術看護を実践します。

栄養課

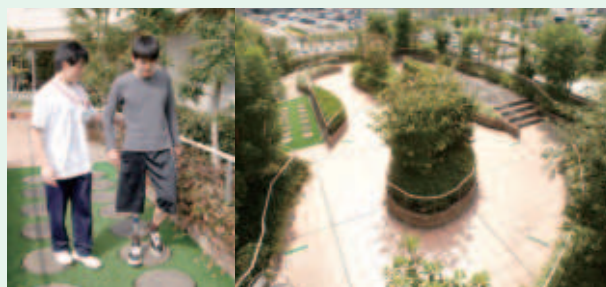
チーム医療の一員として、質が高く安全な食事支援を目指しています。入院患者さんの食事では2種類から選べる「選択メニュー」の他、アラカルト食、付き添い食も用意。糖尿病教室などの栄養相談も実施しています。

CE室

高度化・複雑化する医療機器を安全かつ適正に扱うため、臨床工学技士を擁するME室を設置。手術機器の操作と保守点検、血液浄化業務をはじめ、医療スタッフへの機器利用に関する指導・教育を担っています。

地域包括ケア病棟

入院の対象となるのは手術などの急性期治療を終えた患者さんや在宅療養中に入院が必要になった患者さんで、医療管理や看護・介護指導、リハビリテーションなどを通じてご自宅や施設へ安心して戻れるように支援します。



病棟屋上に緑豊かなリハビリガーデンを設置

回復期リハビリ病棟

回復期リハビリ病棟は日常生活動作の向上を図り、家庭復帰、社会復帰を目的としています。リハビリ担当医を中心に看護師、リハビリ専門職、医療ソーシャルワーカーなど多職種がチームを組み、患者さん一人ひとりの状態に合わせたリハビリプランを作成し、計画に沿ってリハビリを行います。



最新医療システムで バックアップします。

専門医療センター

救急センター

西三河南部西医療圏の2次救急病院であり、医療圏および隣接する岡崎市、豊田市から年間約3,000件を超える救急搬送を受け入れています。320列MDCT、1.5テスラMRI、デジタル血管撮影装置などの先進機器を備え、救急疾患に対して24時間、迅速な検査と確実な治療を行っています。



内視鏡センター

上部・下部消化管内視鏡に加え、小腸ダブルバルーン内視鏡、小腸・大腸カプセル内視鏡、超音波内視鏡を備え、食道から腹部消化管、肝胆膵臓まであらゆる消化器疾患の検査と処置に対応できる体制を整えています。早期胃がん・大腸がんにはESD※などの高度な切除治療も行い、年々症例数が増加しています。



※ESD：内視鏡的粘膜下層剥離術

鏡視下手術センター

当院では1994年に腹腔鏡下胆嚢摘出術を開始して以来、対応手術を拡大し、外科・婦人科・泌尿器科・整形外科において実績を重ねてきました。2012年には鏡視下手術のためのハイビジョンビデオシステムを導入し、患者さんの身体への負担が少なく、より安全な手術を提供しています。



脊椎・脊髄疾患センター

高齢化により増加を続ける脊椎・脊髄疾患に対応するため、2014年に開設しました。日本脊髄外科学会の指導医である脳神経外科医が診断・治療を担当し、脳から脊椎・脊髄、末梢神経まで幅広い神経疾患に対応。手術が必要な患者さんには安全性が高く成績の良い顕微鏡手術を中心に治療を提供しています。



放射線治療センター

今後、地域で増加が予測されるがんの患者さんに対し、身近な場所で、身体への負担が少ない放射線治療を提供するため、2018年に当センターを開設しました。最新鋭の高精度放射線治療装置を導入するとともに、放射線治療医や医学物理士ら専門性の高いスタッフを配置し、高度ながん治療を提供します。



化学療法センター

テレビ付きベッド10床を有し、安全かつリラックスして治療を受けていただける環境を整えて、外来通院による化学療法を行っています。医師、がん化学療法看護認定看護師、薬剤師らが協働で患者さんの副作用症状に対する対策、治療に対する不安の軽減に取り組み、QOLを維持できるよう支援しています。

糖尿病センター

持続性血糖測定や最新のインスリンポンプなどのデバイスを取り入れ、個々の患者さんに適したテーラーメイド診療を目指しています。院内はもとより、地域の先生方とも連携したチーム医療を心掛けています。

24時間対応の救急センターから、患者さんの負担を軽減する鏡視下手術センター、不妊治療センターなど、各種の最新医療システムで地域医療をバックアップ。また総合健診センターは、地域住民の健康を守る予防医療にも貢献しています。

不妊センター

1986年の開設以来、中部地方で初めて顕微授精による妊娠に成功するなど不妊の先端医療を担ってきました。近年は新鮮胚移植、凍結融解胚移植、レーザー孵化補助法、紡錘体観察による顕微授精などの技術により成績を向上させています。また不妊症看護認定看護師やカウンセラーを配置し、受診者の心のケアにも努めています。



血液浄化センター

血液浄化センターは、ベッド数17床、専門スタッフの管理のもとに、安全で質の高い透析治療を行っています。慢性腎不全患者さんへの血液透析をはじめ、白血球吸着療法、LDL吸着療法、腹水濾過濃縮再静注法などに対応。透析患者さんの動脈硬化、末梢循環不全などへの治療法として炭酸泉治療も実施しています。



小児アレルギーセンター

近年急増する小児アレルギー疾患に対応するため、2018年小児アレルギーセンターが誕生しました。食物アレルギー診断のための食物負荷試験、経口免疫療法、エピペン注射の指導をはじめ、喘息、アトピー性皮膚炎、ダニ・スギアレルギーの舌下免疫療法に対応。専門性の高いトータル・アレルギーケアを提供します。



八千代総合健診センター

2014年新館に「八千代総合健診センター」をリニューアルしました。同時に画像診断機器、内視鏡センターの充実も図り、より精度が高く身体への負担が少ない検査を提供する体制を整えました。人間ドックをはじめ市民健診、協会けんぽ、企業健診などに幅広く対応し、利用者の満足度の高い健診を目指しています。

尿路結石治療センター

尿路結石に対する救急治療から再発予防まで専門医療をトータルに提供しています。外科治療では体外衝撃波結石破碎術(ESWL)、経尿道的結石破碎術(TUL)、経皮的結石破碎術(PNL)に対応。TUL施行は年間100例を超え、地域有数の治療実績を誇ります。

総合リハビリセンター

2005年に総合リハビリセンターを開設して以来、リハビリ専門医を中心とするスタッフの充実や施設の整備に努めてきました。当センターでは外来および入院患者さんに、急性期から回復期、慢性期まで一貫したリハビリを提供するとともに、訪問リハビリにも対応。エビデンスに基づく質の高いリハビリを提供しています。



愛知県認知症疾患医療センター

2013年に愛知県の指定を受け、認知症疾患医療センターを開設しました。地域における認知症診療の拠点として、鑑別診断と治療、医療相談、医療・介護福祉関係者への技術・情報提供などを行い、認知症の患者さんご家族が、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援しています。



心をこめて在宅ケアまでサポートします。

在宅支援部門

短時間通所リハビリテーション

「医療保険によるリハビリを終了したが、もう少しリハビリを続けたい」という方のために介護保険を利用したリハビリを行っています。リハビリ専門職が、個人の能力や目標に合わせた質の高いリハビリを提供します。

訪問リハビリテーション

病気、ケガなどによる障がいのため外出が困難な方、あるいは在宅での生活に問題がある方のご自宅に、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が訪問し、リハビリ、環境調整、精神的サポートなどを行います。

八千代訪問看護ステーション

病気や障がいなどによりご自宅で療養生活を送っている方、通院ができない方を対象とした看護サービスです。看護師が利用者のご自宅を訪問し、主治医の指導に基づいてケアやアドバイスをを行います。

ホームヘルプ八千代

資格を持った訪問介護員が、要支援・要介護認定を受けている利用者のご自宅を訪問し、その方の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ、自立した日常生活を送ることができるよう援助を行います。

ケアサポート八千代

要介護認定を受けた方からのご依頼に応じて、介護支援専門員（ケアマネジャー）が介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、適切なサービスが行われるよう、サービス事業者や関係機関との連絡調整を行います。

訪問栄養指導

在宅療養中で通院・通所が困難な方の自宅に管理栄養士が訪問し、栄養や食事の管理および指導を行います。身体状況や生活環境、嗜好に合わせた食事を提案し、安心して自宅療養が継続できるよう支援します。

皆様の生活を地域全体で支えます。

地域連携システムとは、地域の医療・介護福祉機関がそれぞれの機能にあった役割を分担するとともに、連携を強化し、住民が地域で継続性のある適切な医療や介護を受けられるようにするものです。この地で安心して生まれ、健やかに育ち、穏やかな老後を迎えられるよう、八千代病院は他の機関とともに、皆様の生活を支える医療を提供します。

Feature

優秀な人材の育成

優秀な人材を育成するため、研修医の受け入れをはじめ、看護師・薬剤師・リハビリ専門職・臨床検査技師・放射線技師などの学生研修、および臨床研修などを受け入れています。また、職員のキャリアアップ、資格取得推進にも努めています。

医療安全への取り組み

当院では、「人は時にエラーを起こすもの」との前提に立ち、それが重大な事故につながらないように、医療安全システムを構築し、安全かつ適切な医療を提供するために病院全体で安全管理体制の確立に取り組んでいます。

大規模災害への対応

地域の基幹病院として、ハード・ソフトの両面で大規模災害への対応を強化。災害に強い病院を目指しています。特にハード面では、予測される大震災の備えとして、耐震設計、非常用発電装置、飲料水の確保など各種の対策をとっています。

訪問看護、訪問リハビリテーション、介護相談など、地域にお住まいの皆様に安心していただけるよう、地域の医療機関や介護福祉施設と連携して、必要なサービスをご提供。2008年には「安城医療福祉ネットワーク」を設立して、定期的な勉強会・研修会を実施しています。

八千代リハビリデイサービス 彩

2015年に開設した彩では、「よりよい生活へと変わる場所」をコンセプトに、生活に焦点をあて、家事や趣味などの「作業」を活動の中心に置いた、今までにないリハビリデイサービスを提供しています。

安城市地域包括支援センター八千代

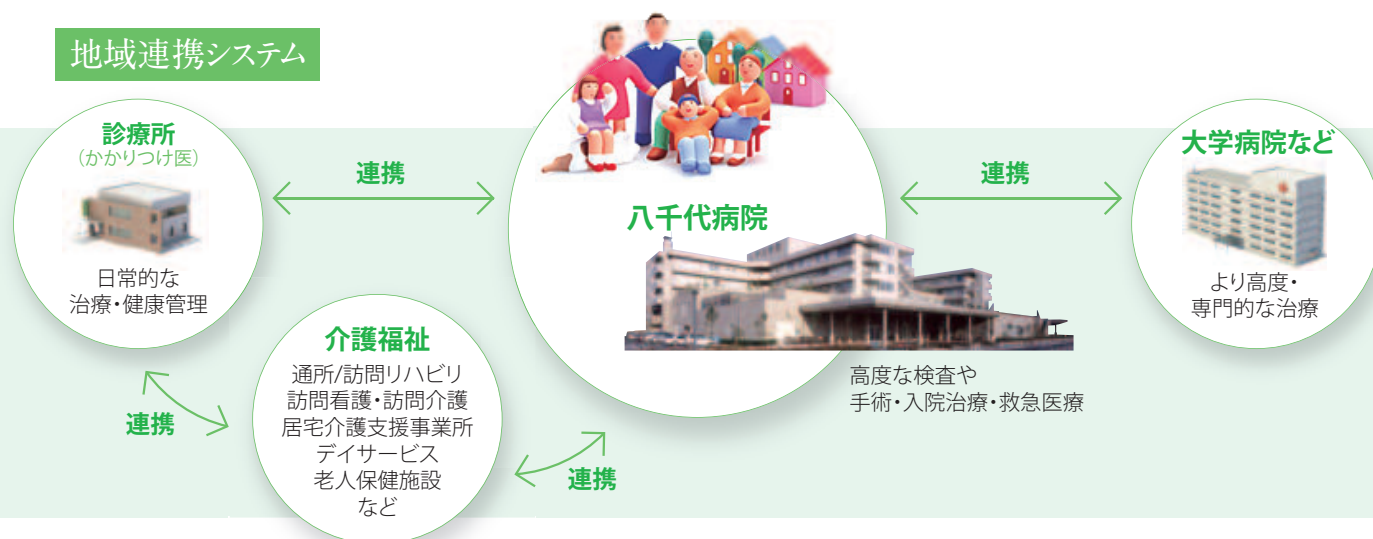
高齢者が地域で安心して暮らせるよう、高齢者の多様なニーズを受け止め、公正・中立な立場から総合的に支援しています。相談者個々の状態に合わせた適切なサービスの提案・調整を行う一方、多様な社会資源を有効活用できるようにネットワークづくりも進めています。

地域包括支援センターは、安城市からの委託を受けて、社会医療法人 財団新和会が運営している相談機関です。

介護老人保健施設さとまち 他

介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学療法士等によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供する施設です。

地域連携システム



環境への配慮

2005年に新築移転した当院は、先進の医療を提供するための機能性と、人と環境にやさしいアメニティの両立を目指して建設。2010年度には愛知県「人にやさしい街づくり賞」を受賞するなど、地域からも高い評価を得ています。

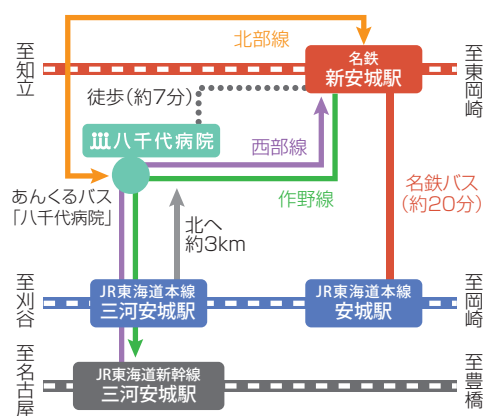
患者満足度の向上

クオリティホスピタルを実現するため、外来・入院患者満足度調査や待ち時間調査などを実施。満足度のさらなる向上に取り組んでいます。また、利用者からの投書への迅速な対応、および職員の接客研修などにも力を入れています。

地域との交流

当院には「オリーブの会」というボランティアの会があります。外来・病棟での各種ボランティア活動をはじめ、ミニコンサートの開催、写真・絵画の展示など、よりよい療養環境を実現するため、地域の方々にもお力添えをいただいています。

交通アクセス



八千代病院周辺マップ



※敷地内駐車場が満車の場合は、病院南側の市営駐車場をご利用ください。
詳しくは、本館1階 総合受付でお問い合わせください。

介護事業部

在宅支援部門

● 八千代訪問看護ステーション	TEL.0566-97-2002
● ホームヘルプ八千代	TEL.0566-97-1550
● ケアサポート八千代	TEL.0566-98-8084
● 訪問リハビリテーション	TEL.0566-96-5535
● 短時間通所リハビリテーション	TEL.0566-96-5535
● 安城市地域包括支援センター八千代	TEL.0566-97-8069
● 八千代リハビリデイサービス彩	TEL.0566-78-1616

介護老人保健施設さとまち

● 介護老人保健施設ユニットさとまち	TEL.0566-96-3511
● 通所リハビリテーションさとまち	TEL.0566-96-3511
● 訪問リハビリテーションさとまち	TEL.0566-96-3511
● 居宅介護支援事業所さとまち	TEL.0566-96-3515
● 安城市地域包括支援センターさとまち	TEL.0566-96-3512